さめがわ

1
January 2013
第705号
平成25年1月1日発行
（毎月1日発行）

［広報］

Public Relations SAMEGAWA

［新春特別企画］

今年の夢を漢字一文字で

新春対談●大樂村長×前田議会議長×奥貫教育長

2013 人の集まる村づくり



表紙の絵：鈴木米子さん（赤坂中野）

新春対談●大樂村長×前田議会議長×奥貫教育長

2013 人の集まる村づくり



新年あけましておめでとうございます。
2013年の年頭に当たり、
大樂勝弘村長、前田三郎村議会議長、奥貫洋教育長の3人に
2012年を振り返っていただくとともに、
これからの村づくりや夢について
語っていただきたいと思いますので、
よろしくお願いします。（司会あいさつ）

復興に取り組んだ２０１２年

――二〇一二年は復興元年と位置づけられ、国や県においてさまざまな施策が展開されましたが、村の二〇一二年を振り返ると、村長さんにとってはどのような一年だったでしょうか。

村長　二〇一二年は東日本大震災、原子力発電所事故から一年ということで、復興の年でした。鮫川村は幸い、地震による大きな被害はありませんでしたが、原発事故によって村民の皆さんは不安な毎日を送っており、大きな負担になっていることと思います。皆さんと一緒に一日でも早く原発事故前のきれいな鮫川村に戻さなければいけないという思いで、一年間取り組んできました。



大樂勝弘 村長
Katsuhiro Dairaku



前田三郎 村義会議長
Saburo Maeda



奥貫　洋 村教育長
Hiroshi Okunuki

風評被害以外にも、四月から牛のえさの基準値が厳しくなったことで牧草を与えられなくなり、これから復興に向けて動き出そうとしているときに、大きな不安材料ができてしまいました。それに対応し、村では、畜産農家の生産意欲を欠かないために、独自で乾燥牧草の配布を始めました。こうしたことで、少しでも不安を和らげることができたと思います。また、農産物の放射性物質検査を強化し、食の安全の確保にも努力してまいりました。さらに秋には、米の全量全袋検査も実施され、鮫川村の米は安全であることが立証されました。

――議長さんはどうでしたか。

議長　やはり震災からの復興、原発問題の一年でしたが、ここで地域経済を疲弊させてはいけないという思いでした。復旧復興事業については、ある程度は解決できたと考えています。その中で、行政に住民の参加を得られたことに感謝しなければなりません。行政、各種団体、そして住民が一致団結することが村の振興につながるのだと思います。

また、六月には、開かれた議会、信頼される議会を目指し、議会改革特別委員会を設置しました。さらに、議会の動きをいち早く村民に伝えるため、議員が主体となった「議会だより」の編集に取り組みました。村議会にとって、変化の年となりました。

――教育長さんは、どんな一年でしたか。

教育長　一年を振り返ると、まず、放射能の問題がありました。その対策として、教育施設の除染活動や放射性物質検査による安心安全な給食の提供にいち早く取り組めたことがよかったと思います。

子どもたちを見ると、よい話題が多かった一年でした。中体連や小学校陸上競技大会、スポ少、音楽関係、各種作文コンクールなど、さまざまな分野で近年にないよい成績を収めました。さらに、「鮫川村の子どもたちは落ち着いている」というお褒めの言葉をもらうこともあり、いい雰囲気の中で授業に取り組めていることがよかったと思います。

村民の知恵が結集した新しい振興計画を

――二〇一三年のスタートに当たり、これからの村づくり、将来の夢や目標などについてお話いただきたいと思います。村長さんは、村政をあずかる立場として、どのように考えていますか。

村長　これからの村づくりと



「自然環境を生かした鮫川風のまめな暮らし方」を実現していきたいと思います。（大樂）

して、先決なのは放射線量の低減化。いかに村民の不安をなくし、村民の健康と安全な暮らしを守るかが重要です。そのために、ホールボディカウンターによる検査や除染活動を進めていきます。

また、「まめで達者な村づくり事業」が今年で十年目となります。大豆の連作障害が課題となっていますが、生産者の協力を得ながら、引き続き推進していきたいと考えています。

さらに、今年は第三次鮫川村振興計画の検証と第四次振興計画策定準備の時期になります。第三次振興計画は、多くの村民の皆さんの知恵を生かした素晴らしい計画でした。これまで、社会全体として、ぜいたくな暮らし、楽な暮らしを安易に求めすぎていた面があると思います。これからは、周りの自然を大切にした暮らし方が重要になってくるでしょう。「自然環境を活かした鮫川風のまめな暮らし方」を実現していきたいと考えています。そのために、第三次振興計画を継承しながら、村民の皆さんの知恵が結集した新しい振興計画を策定したいと考えています。

――村長さんの考える「自然環境を活かした鮫川風のまめな暮らし方」には、農業振興は欠かすことができないと思いますが、その点についてはいかがお考えでしょうか。

村長　中山間地域でできる農業は限られます。世界と競争するためには、大規模農業でないとコストダウンは図れませんし、地方の農業の役割は何なのかを明確にしていかなければいけないでしょう。

議長　定年後の人たちに、農業に従事してもらえるような作物の選定も課題の一つだと思います。ほかにも、後継者不足などによる耕作放棄地の問題もあります。行政と農業団体、地域の連携が重要なポイントになってくるでしょう。

教育長　農家さん自身が「農業は立派」だということを自覚し、生きがいや適切な収入を得られるなど、農業に対して喜びを感じられることが必要だと思います。そういう親の姿を見て、まねをしたいと子どもも本気になるのではないでしょうか。

議長　市場を確保することで、安定的な収入を得ることができれば、農家減少を食い止められるのではないでしょうか。

現在では、スーパーなどで季節に関係なく作物がそろい、「旬」がなくなっています。これが野菜の消費減少の一因ではないでしょうか。鮫川村のような小規模な農業では、「安心・安全」ということで売っていく必要があると思いますね。



若い世代が定住するために、生活基盤の整備、医療の充実が求められます。（前田）

生活基盤の整備と教育環境の充実

――議長さんは今後の村づくりをどうお考えですか。

議長　生活基盤の整備が必要だと思います。ここに住みたい、住んでよかったと思える村にしていかなければいけません。例えば、冬期間の道路の凍結対策。そして、村民が一番心配に思っているのは、医療面ではないかと思います。重症的な急患などの応急処置にも対応できる医療機関の充実を進めていかなければいけないのではないでしょうか。この問題を解決しないことには、若い世代の定住は難しいと思います。

村長　医師を確保するためには、子どもの教育面の充実が

必要になるでしょう。医師が村に来るとき、自分のことよりも子どものことを考えます。子どもにどういった教育環境を与えられるかが重要ではないでしょうか。

議長　子どもの教育環境は、若い世代の定住を図る上でも重要ですね。

　現在は、親をみなければいけないという責任感を持つ若い世代の人たちがいますが、この先、親がいなくなったとき、子どもの教育を考え離村していく家庭があるのではないかという不安もあります。

――教育長さんは、これからの教育をどうお考えですか。

教育長　学んで理解できる楽しい授業改善をしていきたいと考えています。

　これからは、自分の言葉で分かりやすく説明し、まとめる能力が重要になっていきます。そういう意味で、国語や英語などの言葉の教育は大切だと感じています。取りかかりとしては、読書が効果的でしょう。保護者の理解を得ながら、読書が好きという子ども、本を読む家庭を増やしていきたいと考えています。

　また、「学校を卒業すれば勉強は終わり」ということではありません。自分で問題を見つけ、解決できる能力を養えるような学びの場が必要だと思います。図書館を中心に、高齢者から子ども、学生が気軽に集えればと考えています。

村長　やはり子どもが「本を読むのが楽しい」「勉強が楽しい」と思えることが一番なのでしょうね。楽しくないと頭に入らないものです。いかに分からないことが分かるようになるか、その楽しさを覚えさせられるような教育環境が必要ですね。

夢を実現するために村民が手を取り合って

村長　私の最終的な夢は「人の集まる村」です。その夢の実現のために、大勢の人が意見を出し合いながら取り組んでいけたらと思います。

　何よりも、鮫川村の自慢はきれいな水と空気。都会などへ行って帰ってきたとき、つくづく鮫川村はいい所だと感じます。自分たちが汚さなければ、汚れないこの自然は宝です。今後、しっかりと除染を進め、原発事故前の美しい村を取り戻したいです。子どもたちが安心して作物を食べ、安心して住める地域にみんなで戻していきたいですね。

議長　村民の一人一人が努力して力を伸ばし、安心安全で住みよい村づくりを夢に描いてもらいたいですね。村民がそういう気持ちで進んでいけば、決して夢ではなくなると思います。そういう考えのもとに進んでいきたいです。

　また、議会としては行政と住民のパイプ役として、住民の要望や期待などを素早く村政に反映させることが重要と考えます。議員自らが地域に入り、村民の意見を村政に提案していきたいと思います。

教育長　一人一人が、人に言われるのではなく自分で正しく判断し、それに向かって協力して進んでいく村づくりがいいですね。小さい村だからこそ、手と手を取り合って進んでいきたいものですね。

――新しい年、二〇一三年が鮫川村にとって飛躍の一年になることを願って、対談を終わりたいと思います。本日はありがとうございました。



自分で課題を見つけ、解決できる能力を養えるような学びの場が必要です。（奥貫）



これからの村づくりや夢などを語った新春対談

[新春特別企画]

今年の夢を漢字一文字で

新しい年のスタートに当たり、さまざまな立場や気持ちで新年を迎えた10組に、2013年の夢や目標を聞き、漢字一文字で表してもらいました。



新

今年、卒業して関東に就職します。新しい土地での新しい第一歩、新しい出会いなどたくさんの「新しい」がある一年にしたいです。

矢吹静菜さん

赤坂西野字前田在住／18歳
修明高校飯川校3年



富

富＝豊。豊かな学問や生活、健康に心掛けて、元気に生活したいです。村民みんなが豊かに生活できる一年になってほしいです。

青戸學男さん

富田字彦次郎在住／82歳
村老人クラブ連合会長



挑

常に挑戦する気持ちを持って、さまざまなことにチャレンジしていきたいです。いずれは、夫婦で個展を開きたいですね。

水野博和さん

赤坂東野字広畑在住／79歳
村体育協会長



心

心を込めて野菜を作っています。また、害虫や病気などにも心配りをしています。今年もおいしい野菜を作りたいです。

阿久津澄子さん

西山字折戸在住／72歳
農産物加工・直売所「手・まめ・館」生産者



真

中学校に行っても、何事にも真っすぐに、真剣に取り組みたいです。バレーボールももっと上達するように頑張りたいです。

湯座真代さん
赤坂中野字取上在住／11歳
2013年・年女



健

定年を迎え、生活が変わる年になります。規則正しい生活を心掛け、健康に過ごしたいです。孫たちも健やかに育ってほしいですね。

芳賀誠一さん
渡瀬字江竜田在住／59歳
2013年・年男



一

震災以降、バタバタした毎日を送ってきました。今年は初心に戻って一から見つめ直し、一つ一つを積み重ねて進んでいきたいです。

須藤重晴さん
赤坂東野字遠ヶ竜在住／37歳
村商工会青年部長



躾（しつけ）

親に「世の中に出て笑われないようにしなさい」と躾（しつけ）を受けました。これからも、そのことを心にとどめて生活したいです。

根本良子さん
西山字岩野草在住／60歳
村保健推進員会長



幸

今年、第一子が生まれます。今まで以上に忙しい生活になるとは思いますが、それ以上に幸せになれる一年にしていきたいです。

緑川大さん・**仁美**さん
赤坂中野字真坂在住／23歳・22歳
2013年・第1子誕生



芽

子どもたちが少しずつでも成長してくれるような一年になってほしいです。健康で、「芽」のようにスクスクと育ってほしいです。

舟木敏勝さん
赤坂西野字石ノ花在住／36歳
さめがわこどもセンター保護者会長

SLOWFOOD PARTY 2012

生かして元気な村に

会場いっぱいに並んだふるさとの味

村では、「まめで達者な村づくり」事業を通して、新たな産業（生産・加工・販売）づくりや地産地消、食育の推進などの成果をあげています。

近年、「食」の安心・安全が人々の関心を集めている中、この事業をさらに発展させるため、村から生まれる豊富な有機資源を活用した「ゆうきの里づくり」を進めています。その一環として、毎年実施しているのが「鮫川の郷土料理を楽しむ会」です。ふるさとの家のギョウザやうどんなどが会場いっぱいに並び、来場者は鮫川村の「食」を堪能しました。



郷土料理を楽しむ会の料理は、村食生活改善推進員「ひまわりの会」（矢吹さつき会長）や落合里づくり協議会（本郷弘義会長）、山ぼうし会（関根のぶ子代表）などの団体が調理を担当し、村の安心・安全な食材を使った料理が提供されました。

コンテスト入賞者を表彰

また、楽しむ会に先立ち、「第九回鮫川村アイディア料

アイディア料理コンテスト

●鮫川村長賞
「かけて味噌ダレ」本郷まさ子さん（戸草）



●福島県県南農林事務所長賞（まめで達者な村づくり奨励賞）
「ドレドレみそドレ」斎須信子さん（新宿）

●鮫川村商工会長賞
「エゴマネーズソース」修明高鮫川校３年フードデザイン

●ＪＡ東西しらかわ鮫川支店長賞
「つけだれポン」根本良子さん（岩野草）

●福島民報社賞
「ええごまだれ」小山智加江さん（修明高鮫川校）

●福島民友新聞社賞
「ドレミソ♪」長井良二さん（青生野小）

●入賞
「おばあちゃんのドレッシング」本郷まさ子さん（戸草）



アイディア料理コンテスト入賞者



「花まめ」コンテスト入賞者

「花まめ」コンテスト

●鮫川村長賞
「黒花豆」坂本ミツヨさん（岩野草）



●福島県県南農林事務所長賞（まめで達者な村づくり奨励賞）
「紫花豆」石井トクさん（中沢）
●鮫川村商工会長賞
「うずら豆」関根のぶ子さん（余所内）
●ＪＡ東西しらかわ鮫川支店長賞
「白ささげ」関根洋子さん（水口）
●入賞
「手なしささげ」関根洋子さん（水口）
「紫ささげ」関根洋子さん（水口）
「紫花豆」鈴木ミチ子さん（馬場）
「紫花豆」大平キヨ子さん（二反田）
「金時豆」大平キヨ子さん（二反田）
「黒花豆」関根キヌエさん（大平）
「モロッコいんげん」関根キヌエさん（大平）
「黒花豆」関根悦子さん（水口）
「紫花豆」関根悦子さん（水口）
「紫ささげ」関根悦子さん（水口）
「紫花豆」石井トクさん（中沢）
「白ささげ」石井トクさん（中沢）
「パンダ豆」関根タケさん（余所内）
「金時豆」関根タケさん（余所内）
「白いんげん」関根ミイ子さん（大平）
「黒花豆」坂本ミツヨさん（岩野草）
「紫花豆」関根マサさん（余所内）
「紫花豆」関根まさえさん（西野内）
「白花豆」関根まさえさん（西野内）
「黒花豆」関根まさえさん（西野内）
「黒花豆」芳賀マサノさん（摺合）
「白小豆」芳賀マサノさん（摺合）

鮫川の郷土料理を楽しむ会

鮫川の豊かな食を

の味を伝承する郷土料理の普及や食育、地産地消の推進を目的としています。

今年の郷土料理を楽しむ会は十一月二十四日、村公民館で開催し、村内外から多くの来場者でにぎわいました。会場には、村内で生産された農産物をふんだんに使った料理のほか、学校給食センターの全国学校給食甲子園出場メニュー、山際食彩工房（会津若松市）代表の山際博美さんの創作ドレッシング、特産さめがわ合同会社のじゅうねんドレッシングを使用した「じゅうねんおはぎ」、鮫川たんぼぼ



2


1


3

1 地場産物をふんだんに使った料理を楽しむ来場者／2 たくさんの人でにぎわう会場内／3 テーブルには懐かしいふるさとの味が並んだ

理コンテスト」や今年で二回目の実施となった「花まめコンテスト」の表彰式も開催し、受賞者に賞状と記念品を贈呈しました。

「アイディア料理コンテスト」および「花まめコンテスト」の審査会は十一月八日、村公民館で行いました。「アイディア料理コンテスト」に七点、「花まめコンテスト」に二十六点の応募があり厳正な審査が行われました。また、入賞作品は郷土料理を楽しむ会の席上にも並べられ、来場者は優れた作品に感心している様子でした。

全国学校給食甲子園「みんなで作る給食」で入賞

大会初となる3度目の決勝大会進出

地産地消給食のおいしさや栄養価を競う「第七回全国学校給食甲子園」に村学校給食センターが北海道・東北ブロック代表として出場しました。

大会には、過去最多となる二千二百七十一の学校や施設が応募。第三次審査までの書類選考などを通過した十二の代表が決勝大会に挑みました。

村学校給食センターが決勝大会に出場するのは、二年ぶり三度目。大会史上最多の出場となりました。今回応募した献立は、じゅうねんと大豆を使った「えごまめバーグ」、切り干し大根とレンコン、キュウリなどをあえた「カミちゃんサラダ」、つるむらさきとえごま鶏卵のかき玉汁、玄米ごはん、ミニトマトに牛乳。

村学校給食センターの芳賀公美栄養技師は、『「みんなで作る給食」をテーマにメニューを考えました。「カミちゃんサラダ」は、センターが毎年子どもたちに募集する「みんなの給食レシピコンテスト」で、昨年度優秀賞を得たメニューです。子どもたちが考えたメニューを取り入れることで、より給食に興味関心を持ってもらいたいと思いました』と話します。また、村では歯科保健に力を入れて取り組んでいることもあり、よくかんで食べる食材も取り入れたそうです。さらに、大豆やじゅうねんをはじめとした村の特産品のほか、福島県の特産品である「つるむらさき」も使用。震災以降、風評被害で落ち込んでいる県全体に元気を与えたいという思いも込められています。一食に子どもたちや生産者、給食センターなどみんなの思いがのるように献立を考えた結果、決勝大会出場となりました。



1


2

1．第7回全国学校給食甲子園に出場した献立。みんなの思いがつまったメニューとなった／2．決勝大会に出場した芳賀公美栄養技師（写真右）と鈴木ひろ子主任調理員（写真左）

今後の給食づくりに生かしたい

決勝大会は十二月一日、二日の二日間、東京都内で行われました。

大会には、芳賀公美栄養技師と鈴木ひろ子主任調理員が出場し、これまでの練習の成果を発揮し、制限時間内に給食を完成させました。結果は、惜しくも優勝を逃し、入賞となりました。大会を終えた二人は、「この経験を今後の給食づくりに生かし、また新たなことに挑戦していきたい」と話してくれました。

松本惠治さんが瑞宝双光章を授章



瑞宝双光章を受けた松本さん

元村消防団長を務めた松本惠治さん（富田字彦次郎）に対する瑞宝双光章の叙勲伝達式は十二月七日、役場村長室で行われました。

松本さんが村消防団第六分団長を務めた昭和六十二年には、江竜田地内での大規模山林火災が発生。消火に至るまで現場で指揮し、不眠不休の活躍がありました。また、消防団員の教育訓練や防火思想の普及啓発など多くの功績を残しました。松本さんは、昭和三十六年に村消防団に入団。平成七年から平成十七年まで村消防団長を務められました。



さまざまな意見が交わされた第２回懇談会

修明高等学校鮫川校存続の危機４

「地域に必要な学校…」県に存続訴える

進路希望調査を受け第２回懇談会

平成二十三年度から入学者数が募集定員の半分以下となり、平成二十六年度から募集停止の危機にある修明高鮫川校の第二回目となる高等学校改革懇談会は十一月三十日、同校で開かれ、出席者が県教育委員会に存続を訴えました。

懇談会では、県の担当者から来年度の県立高等学校生徒募集定員や同校の概要、同校への進学率などについて説明がありました。また、九月一日現在で実施された進路希望調査の内容について報告されました。九月一日現在の志願者数は募集定員の半数を下回っている状況ですが、例年の傾向から今後増加していくことなどが説明されました。

さらに、川口高（金山町）や南会津高（南会津町）などの豪雪地帯では、通学が困難ということから国が定めた四十人の募集定員を、県独自の基準で三十五人に設定していることが説明されました。

また、青山修明高等学校長は「先日、同校生徒が県短歌賞で実行委員会長賞を受賞した。本校にはこのように素晴らしい生徒が集まっている」と付け加えました。

地域の状況考慮し検討続ける

出席者からは、「路線バスなどの公共交通機関が不足している。さらに、親の送り迎えも負担になる場合があるので、本校においても特例措置を受けられないか」「学校が集中している白河方面からの入学者など、広域から入学者があるのは本校の特徴の一つであり、子どもたちにとって必要な学校である」「同校は村事業などにも積極的に参加し、地域にとっても必要な学校である」などの意見が多く出されました。

県の担当者は、「機械的に決まりに当てはめるつもりはない。地域状況などを考慮し判断したい。子どもにとって望ましい教育環境はいかにあるべきかを考える必要がある」と話しました。

ホールボディカウンターによる

内部被ばく検査を実施します

県では、県民の安心・安全と将来の健康管理のため、ホールボディカウンター車による内部被ばく検査を実施しています。

今回、鮫川村を対象とした検査が実施されますので、お知らせします。

検査予定日　平成25年1月22日（火）～2月9日（土）

検査目的　東京電力福島第一原子力発電所事故で環境に放出された放射性セシウムから一生の間に受けると思われる線量を推計し、今後の健康管理に役立てることを目的としています。

対象者　①4歳から18歳までの子ども／②妊婦　※年齢および妊婦の基準日は、平成25年1月25日現在です。

検査料　無料

申し込み　さめがわこどもセンター、各学校を通して個人宛てに通知しますので、申し込んでください。未入所児、妊婦の方には直接個人宛てに通知します。

検査結果の通知　結果は、同意書に記載された住所に後日郵送されます。

問 村住民福祉課健康係☎49-3112



ホールボディカウンター検査の流れ

受　付

↓

検査内容の説明

↓

体表面検査

サーベイメーターによる体表面汚染検査（約2分）

↓

ＷＢＣによる検査

全身計測装置ホールボディカウンター（ＷＢＣ）による全身検査（約2分）

※より正確に測定するため、下着以外を脱いで検査着に着替えていただきます。

※検査で放射線を浴びることはありません。また、検査は痛みを伴いません。

衆議院議員総選挙

村の投票率は72・93％

十二月十六日に執行された第四十六回衆議院議員総選挙（衆議院福島県小選挙区選出議員選挙、衆議院東北選挙区比例代表選出議員選挙）の村の投票率は、前回（平成二十一年八月三十日執行）の八二・二九％を九・三五ポイント下回る七二・九三％でした。また、最高裁判所裁判官国民審査の投票率は七〇・三八％でした。

衆議院議員総選挙の投票区別の投票率は次のとおりです。

■投票区別投票率

投票区	投票率（%）		
	男	女	計
鮫　川	75.65	73.08	74.35
西　野	76.23	75.18	75.69
西　山	70.77	64.55	67.61
富　田	76.19	72.09	74.28
渡　瀬	71.43	73.00	72.22
青生野	73.50	72.58	73.03
戸　草	70.24	72.73	71.43
計	73.95	71.92	72.93

鮫川村奨学基金 奨学生を募集します

■問い合わせ　村教育委員会教育課教育総務係 ☎49 - 3151

村教育委員会では、鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

募集期間　平成25年２月20日（水）～３月29日（金）

応募資格　▶鮫川村に引き続き５年以上住んでいるか、住んでいたことがある方▶高等学校、高等専門学校、大学および大学院、短期大学などに在学または今春入学予定の方▶経済的理由により修学が困難と認められること▶国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額　▶高等学校・各種学校（１～３年）…２万円以内▶高等専門学校…５万円以内。ただし、第３学年までは２万円以内▶大学および大学院・短期大学…５万円以内

貸与始期・期間　平成25年４月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還　▶貸与は無利子で、卒業後６カ月から毎月、10年以内に償還すること。（全部または一部を一時償還することができます）▶大学および大学院を卒業後、鮫川村に居住し、農林水産業に10年間就業した方は奨学金の返還が免除されます。

奨学生の決定　選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射能の測定を継続しています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②「不検出」は「検出限界値未満」を表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最大値と最小値を表示しています。

11月14日～12月18日検査　　放射性セシウム［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
なめこ(栽培)							228
サトイモ		4					
いもがら	不検出	42		5	不検出		
大根		不検出	不検出				不検出
白菜			不検出	不検出			不検出
チンゲン菜		10					
トロイモ							不検出
山わさび		不検出					
玄米		不検出					
大豆	不検出						
そば	13						
じゅうねん	9	7～9	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
イノシシ	144～666	168～389	199～235	101～123		94～539	58～991
アイガモ		不検出					
柿	不検出						
キウイ	7			14			
ゆず	14～29						

■問い合わせ　村農林課☎49 - 3114

大豆の種まきから加工までを学ぶ
青生野小児童が豆腐作りを体験


成型作業を体験する児童

青生野小学校の３年生以上の９人が11月20日、「手・まめ・館」で豆腐作りを体験しました。児童たちは、種まきから収穫までの大豆栽培を行い、今回、加工作業を学びました。豆腐職人から説明を受けながら、豆腐の成型やパック詰めなどの作業を行いました。

歌や劇を元気に披露
こどもセンターお遊戯会


練習の成果を発表する園児たち

さめがわこどもセンターのお遊戯会は12月８日、同センター体育館で開かれ、子どもたちは練習の成果を元気に披露しました。

クラスごとに劇を発表したほか、幼稚園児による歌と合奏、得意技などが次々と披露され、会場は拍手で湧きました。

むし歯のない子は６人
11月27日実施の３歳児健診

11月27日に村保健センターで実施した３歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児10人中６人でした。



伊藤 歩夏（あゆか）ちゃん

①赤坂中野字宿ノ入／②父・謙輔さん、母・弥生さん／③寝る前の歯みがきを習慣化し、毎日がんばってできました。



芳賀 七海（ななみ）ちゃん

①渡瀬字木之根／②父・光義さん、母・恵子さん／③むし歯にならないように、食後の歯みがきをがんばりました。



北條 吏桜（りお）ちゃん

①赤坂西野字岫長／②父・裕幸さん、母・勝代さん／③歯みがきを楽しむために、キャラクターのハブラシや歯みがき粉を使い、歌を歌ってがんばりました。



森 夏帆（かほ）ちゃん

①赤坂東野字椿久保／②父・隆之さん、母・亜矢子さん／③できるだけお茶を飲むようにしました。毎日、寝る前に仕上げみがきをしました。



関根 咲綾（さあや）ちゃん

①西山字水口／②父・幸治さん、母・朋子さん／③仕上げみがきを嫌がらず、毎日、歯みがきをがんばりました。



鈴木 悠生（ゆう）ちゃん

①赤坂西野字大塩／②父・光さん、母・亜希子さん／③夜の歯みがきは、糸ようじも使ってがんばりました。

①住所／②保護者／③むし歯にならないために頑張ったこと

村政TOPICS

交通

年末年始も無事故で「交通安全テント村」

交通安全協会鮫川支部と村交通安全対策協議会主催の「交通安全テント村」は「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」初日の十二月十日、赤坂中野字宿ノ入地内の交差点で行われました。

鮫川駐在所で出動式を行ったあと、通行するドライバーにチラシやティッシュを配り、年末年始の交通安全を呼びかけました。



交通安全を呼びかけたテント村

健康

認知症予防のための「脳いきいき教室」

ウォーキングによる認知症予防を目的とする「脳いきいき教室」は、十二月七日に始まりました。今後、

ほっとニュース





上…勢いよくスタートする選手たち
右…西野チームアンカーの目黒選手

西野チームが４連覇
第23回鮫川村民駅伝競走大会

村体育協会主催の「第23回鮫川村民駅伝競走大会」は11月25日、渡瀬字福原地内をスタート、役場前をゴールとする10区間、21.17㌔のコースで行われました。

大会には、地区体育協会単位の７チームが出場。トップを走っていた中野チームとの差を徐々に詰め、最終区で西野チームが逆転。見事、４連覇を達成しました。

成績は次のとおりです。

▶総合順位　①西野（１時間17分34秒）②中野（１時間18分５秒）③西山（１時間18分52秒）④東石（１時間19分34秒）⑤渡瀬（１時間25分20秒）⑥富田（１時間30分44秒）⑦青生野（１時間36分14秒）▶区間賞（敬称略）　１区…湯坐彩香（中野）／２区…鈴木悟（中野）／３区…関根美可（西山）／４区…湯座真代（中野）／５区…薄井歩（中野）／６区…阿久津慎治（西山）／７区…鈴木和之（東石）／８区…前田大樹（東石）／９区…鈴木蓮（中野）／10区…阿久津好貴（西山）

午後４時になりました…
冬休みの「声」は藤田さんと山本さん



録音を行った藤田さんと山本さん

冬休み期間中の夕方４時に流れる防災無線の「冬休みの声」を担当しているのは、鮫川小６年の藤田菜月さん（写真奥）と山本菜々海さん（写真手前）です。12月18日、役場放送室で録音を行った２人は「緊張したけど、上手にできました」と話してくれました。

楽しく会食をするための作法を学ぶ
小学６年生がテーブルマナー教室



ナイフとフォークの使い方を学ぶ

テーブルマナー教室は12月12日、鮫川小で行われ、鮫川小と青生野小の６年生が楽しく会食をするための洋食のマナーを学びました。村学校給食センターの芳賀公美栄養技師に作法を習いながら、ナイフやフォークを使い料理を味わいました。

村政TOPICS



時間を計りながらウォーキングする参加者

二月まで週一回の活動を行っていきます。

今年度の教室には、第四期生となる五名が参加し、教室運営や参加者を支援する二名のファシリテーターと一緒に活動しています。歩くこと以外にもウォーキングの記録をつけたり計画を立てたり、活動全体を通して脳を使うプログラムとなっています。また、教室を通してウォーキングの習慣化を目指し、これまでの卒業生たちは、自主活動としてウォーキングを継続しています。

ウォーキングのような有酸素運動は、体のさまざまな健康状態を改善させ生活習慣病を予防するだけでなく、記憶や注意などの認知機能の維持や改善に役立つ可能性があると言われています。

村民【随想】リレー ―174

関根順子さん

野球に感謝



JUNKO SEKINE

せきね・じゅんこ●昭和40年11月生まれ。西山字余所内在住。専業主婦。趣味はカラオケ。健康に気を付けながら、一日一日を楽しむよう心掛けている。

私は、鮫川村に生まれ育ちました。この四季豊かな所で、五人の子どもを授かりました。子どもたちは、小学四年生のときにスポ少に入団し、ソフトボールを始め、一日も休むことなく練習し、地区の方々の指導のもと、日に日に上達していきました。試合では、長男が六年生のときに滝根町で行われたあぶくま洞杯で、準優勝に輝きました。一試合一試合、本当にハラハラドキドキしながら応援していました。中学校、高校と野球部に入部し、活躍しました。

次男も兄の影響を受けスポ少に入団し、高校一年生のときはショート。二年生の新人戦ではピッチャーとして、また、主将としてチームを引っ張り東北大会に出場。三年生の春季大会では福島県の第二代表として出場しました。二大会とも初戦で負けてしまいましたが、本当にいい試合でした。

私の子どもたちは、野球部に入りいろいろなことを学びました。私たちもたくさんのことを教えてもらい、あちらこちらに応援に行かせてもらいました。子どもたちには感謝しています。

これからも元気に応援に行きたいと思っています。野球って本当にいいものですね。

■

次は、前田守栄さん（赤坂中野字道少田）にバトンタッチ！

俳句

クリスマステーブル白き友笑う　中井　恒峯
木枯しにおされおされて散歩道　黒田　寿香
小鳥たち寒さ厳しい冬を耐え　小松ハル工
フクシマこそ現の黄泉よ冬支度　土　竜　庵
餅ついて田の神送り冬うらら　斎須　信子
ボランティア元気もらって落葉道　鈴木　米子
今年程作業の遅れ未体験　北條素人坂
山きのこ食卓に出ぬさびしさは　松本　精一
りんご園若き主の直売所　山本　恵子
初雪や猫の足跡一直線　前田　縫子
雪の虹消えて山河の色失せる　山本五十鈴

短歌

一八〇センチは飛びたかったと涙する孫の悔しさは中三の宝　鈴木イミ子
何となく心の曇り覚えつつ見ればテレビは亦も政争　前田　初
疼の疲れもマイクを持てば何のその忽ち二曲を歌いあげたり　佐藤　春枝
いつからかわが家の庭にも野の花の咲きて除るのも躊躇わせおり　須藤　幸子
撫子の壮挙は今も讃えられ野の花までが光りを帯びる　水野　珠子
人心の行方は知らず被曝すも捨てられぬという原発施設　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い 7

誰でも気軽に踊れることが魅力の一つ



鮫川村スポーツ民踊愛好会

高木モト会長／会員7名

鮫川村スポーツ民踊愛好会は、結成から三十年になります。主に、体力づくりと人の輪づくりを目的に活動しており、金澤ヤエさん（矢祭町）を講師に、月二回の練習に取り組んでいます。

ほかの踊りにはないスポーツ民踊の魅力は、誰でも簡単に踊れるところ。お金をかけず気軽に始められ、スポーツ的で活発な振り付けが特徴と話します。

各地での発表会やボランティアとして「ひだまり荘」などで踊りを披露。そのときの観客の拍手などに感激し、晴れ晴れとした気持ちになると言います。また、普段着ることができないようなきれいな衣装を着られることも喜びの一つだそうです。練習の合間にはお菓子などを持ち寄り、会話を楽しんでいるのだとか。チームワークがいいからこそ楽しく続けられると話してくれました。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館（村歴史民俗資料館内）
☎49-3106

迷子の大人
（坂井希久子著、実業之日本社）



介護の仕事も恋も宙ぶらりん、旅行もまともにしたことがない梓。ある夜ふと、特急「あずさ」に乗り込む。人っ子一人いない町をさまよいながらたどり着いた先は長野県高遠町。東京と高遠を行き来しながら自分の生き方を模索していきます。

羊毛フェルト なごみの和風マスコット
（ふじたさとみ著、ブティック社）



羊毛フェルトをニードルでチクチク刺してかわいいマスコットを作ってみませんか。招きネコ、ほっこり地蔵、うさぎ雛、和菓子など和の作品がいっぱい。ほっこり和ませてくれます。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

穏やかな暮らしの中に農をして健やかならむ日を入れんとす　満井　清乃

これというもの無けれども畑より生み出すものは汗の賜物　坂本　伊紀

運命は己が創り出すという秘そと鞭打つこころの姜えに　一平　子

年の瀬に喪中のハガキ受け思うあの日苦渋の夫の面影　石井　幸子

巡り来ぬ大根漬けの季となりて凍える中を洗い日向に　須藤シツエ

秋深し故郷を追われし避難者のどんな思いの冬を迎える　松本　一郎

眼が悪く字は書けないのと電話にて話の続けむ時間気にせず　前田喜三子

茜空鉄塔並びし山並みに夕闇迫る師走のゆうぐれ　藤田千代子

鉢植えの夫の紅梅蕾つけ師走の陽差し受けつつ膨らむ　関根ハナヨ

気の忙し年の瀬迫り右左何がどうよと日毎かけあし　関根　富久

物置きに忘れられいし農機具は無表情にて過去を語らず　鷺野谷　満

書き留むる消しゆく歌友の名の七人命の侘しき師走に喪中の　板橋　源良

かっては母も短歌を詠みたりその母の形見の服にて短歌会に行く　関根キヌ子

GBの絆の結晶入賞のトロフィー抱えて晴れの玉納め　矢吹　一二

西町の歌友と集いし短歌会関先生の歌評に実のあり　北條　平



時間をみつけては練習をしているという英征さん

むらの
名人・達人
Vol. 6



さまざまな催しで演奏を依頼され、尺八を披露する英征さん

尺八名人
京條英征さん
きょうじょう・ひでゆき／赤坂中野字巡ヶ作在住／68歳

繊細な音色の移り変わりが魅力
新たな演奏で多くの人に伝えたい

村や地域の催し、福祉施設でのボランティアなど、さまざまな場面で尺八を演奏している京條英征さん。

英征さんが尺八を始めたのは、三十歳のころ。小さいときから父親と一緒に浪曲を聞いていたこともあり、尺八の音色にひかれたといいます。当時、尺八をやっている友人が身近にいたことと民謡ブームがきっかけになったそうです。

尺八の難しさは、穴の押さえ方や唇の形、吐く息の速さなどを微妙に変化させることで音色を調整しなくてはいけないところ。しかし、それによって繊細な音の移り変わりが表現できるところが尺八の魅力だと話します。「余韻」を楽しむ日本人の感性や感情が尺八を作り上げたと師匠に教えられたという英征さん。

「尺八をやっていて本当によかったと思います。ボランティアで尺八を吹いているときが一番楽しいんです。演奏すると喜んでくれますし、顔も覚えてくれています」

これからは歌謡曲や演歌などと合わせた新たな演奏で、より多くの人に魅力を伝えたいと話してくれました。

若者の広場　No.97

Young Plaza

芳賀 俊光さん

鮫川村がさらに活気づいてほしい



はが・としみつ
平成3年11月11日生まれ　21歳
O型　さそり座
趣味は釣り
赤坂東野字唐露在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

最近は仕事でなかなかできていませんが、小学生のときから釣りが好きです。学生のときは、学校から帰ってきてからよく友達と近くの池に行って釣りをしていました。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

今シーズンからスノーボードを始めたいと思っています。周りにも始めたいという人が増えています。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

やっぱり鮫川村は自然豊かですね。静かでとても落ち着きます。村の人たちはみんないい人で、それぞれに個性があって楽しい人が多いように感じます。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

人が集まるような村になってほしいです。そのためにも、コンビニなどの店や気軽に集まれる場所が増えるといいですね。村が活気づいていけば、若い人たちも村に残るようになると思います。

■

次は芳賀鉄央さん（赤坂東野字唐露在住）の予定です。

学校だより

(99)

鮫川中学校編

自ら学び、考え、主体的に

▼認知症サポートガイド

認知症キャラバンメイトの矢吹稔彦さんを講師に、二年生が認知症の病態や症状、接するときのときの心構え、自分ができることを学びました。

▼SUN3プラン授業研究会

東白川郡内の各教科の先生方が一堂に会し、教科ごとに研究を深めました。青生野小学校、鮫川小学校の先生方も参加し、先生方、生徒ともども学びを深めることができました。



授業研究会

▼東白川郡意見文発表会

全校生が郡内四中学校の優秀者の意見文発表を聞きました。視野やものの見方を深めることができました。鮫川中からは二名が発表しました。

「伝えたかった気持ち」
二年　緑川春香さん
「つながる」
三年　須藤真夏さん

▼書道教室

学校支援推進事業の一環として十二月四日から十三日までの期間中の四日間、各学級二回にわたり津田彰夫さんの指導を受けました。この事業は、鮫川村在住の書道の達人に学び、書道の楽しさを味わい、技術の研さんをすることを目的として行いました。地域の方との関わりを通して郷土愛の育成にもつながりました。



指導を受ける生徒

▼避難訓練

二回目の避難訓練が十二月五日に行われました。今回は実地訓練として消火活動訓練を実施。不測の事態に備える心構えを学びました。棚倉消防署鮫川分署の方々のお話を聞き、大震災の教訓を忘れることなく、災害に対して常に注意を怠らないようにしていこうと実感させられました。

（文・写真／鮫川中学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ 案内

農業委員会委員選挙人名簿登載申請

農業委員会では、「農業委員会選挙人名簿」を作成しますので、申請書にもれなく記入し、組長さんに提出してください。

選挙権を有する資格要件

①年齢…平成25年1月1日現在、鮫川村に住所があり、平成25年3月31日までに満20歳に達する方

②経営耕地面積…10㌃以上の農地を耕作している方とその配偶者および同居親族

③農業従事日数…年間おおむね60日以上

提出期限　平成25年1月5日(土)までに組長さんへ、組長さんは1月6日(日)までに区長さんへ提出してください。

問　村農業委員会事務局☎49-3197

除雪にご協力ください

村では、積雪が15㌢以上となった場合に除雪することとしています。除雪は村内の工事請負業者5社と村が、村道や農道、林道を実施しています。自宅の門口にたまった雪は、それぞれの管理者(所有者や利用者)で除雪していただくようご協力をお願いします。

問　村地域整備課☎49-3116

「手・まめ・館」の定休日について

村農産物加工・直売所「手・まめ・館」は、2月から毎月第一水曜日が定休日となります。

問　村農産物加工・直売所「手・まめ・館」☎49-2556

鹿角平観光牧場売店冬期間も営業します

鹿角平観光牧場内の売店は、3月まで冬期営業時間で営業しています。

営業時間　午前9時～午後3時30分

定休日　毎週木曜日　※12月29日～1月4日は休みとなります。

問　(有)鹿角平観光センター☎48-2010／村商工会☎49-2171

基本調査問診票の出前書き方説明会

県と県立医科大学では、「県民健康管理調査基本調査問診票」に関する出前書き方説明会や相談会を要望に応じて開催します。

開催時間　平日午前9時～午後4時

定員　1回当たり10名～15名

詳しくは、県立医科大学県民健康管理センターへお問い合わせください。

問　福島県立医科大学県民健康管理センター☎024-547-1786

8日は歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

1月の担当は――

鮫川幼稚園

星　拓馬くん
須藤　颯歩ちゃん
水野　来美ちゃん
湯坐斗喜也くん
関根　瑞基くん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館（歴史民俗資料館内）	49-3106
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
後期高齢者医療保険料：第6期
※納期限：1月31日(木)

information

募集

住宅・土地統計調査の標語を募集します

募集内容　調査への理解を深め、調査が正確かつ円滑に行われるような標語

応募条件　①応募作品は、自作で未発表のものに限る／②応募は、1人1点

募集期限　2月7日（木）

応募方法　はがきまたは電子メールに作品、氏名、性別、年齢、住所、電話番号、職業を明記の上、総務省統計局国勢統計課へ応募してください。

問　総務省統計局国勢統計課☎03-5273-1005

「うつ病」セミナー参加者募集

日時　①1月11日(金)／②1月25日(金)／③2月15日(金)／各回とも午後1時30分～午後3時15分

場所　県南保健福祉事務所

対象　講演…「うつ病」に関心のある方／家族交流会…「うつ病」の治療を受けている方の家族

内容　①講演「うつ病の基礎知識」／②講演「うつ病の方への接し方について」／③体験発表「私のうつ病体験～発病から回復まで」／各回とも講演終了後に、家族交流会を開催します。

申し込み　事前に県南保健福祉事務所へ電話またはファックスで申し込んでください。

問　県南保健福祉事務所障がい者支援チーム☎0248-22-5649／FAX0248-22-5451

年金

新成人の皆さん 20歳になったら国民年金加入手続きを

成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。若い皆さんにとって「年金」は「まだまだ先のこと」という認識ではないでしょうか。しかし、老後は誰にでも平等に訪れるものです。

日本では、20歳から60歳までの現役世代が、65歳以上の老後を支える「公的年金制度」が設けられています。

日本に住む20歳から60歳までの方は、必ず公的年金に加入し、保険料を納めることが義務になっています。すでに厚生年金や共済年金に加入している方を除き、成人の責任として国民年金の加入手続きを忘れずに行ってください。

なお、国民年金には、保険料の支払いが困難な場合に、申請により保険料が免除される制度や、学生や20代の方には保険料を後払いできる納付特例（納付猶予）制度がありますので、希望される方はこの申請も忘れずに行ってください。

公的年金は、老後だけではなく、万一の場合の障害や死亡に対する保障もしています。社会を支える一員として公的年金に加入し、保険料を納付しましょう。

問　村住民福祉課住民係☎49-3113

◆◆◆いきいき健康通信◆◆◆

無呼吸症候群の重症化を防ぐ

■睡眠時無呼吸症候群（ＳＡＳ）とは

睡眠時無呼吸症候群とは睡眠中に気道が塞がることで、呼吸が止まる、または呼吸が浅く・弱くなり、それによってさまざまな日常生活障害を引き起こす疾患です。最近ではＳＡＳと循環器疾患との深い関係が分かってきました。

また、頻繁に起こる無呼吸による血液中の酸素の低下、途中覚醒による睡眠の分断などにより多くの生活習慣病の合併症を引き起こすことも分かってきました。

特に循環器疾患においては、高血圧は健常者の1.37倍、夜間突然死は2.61倍、脳卒中・脳梗塞は3.3倍リスクが高くなります。また、夜間の睡眠の分断により日中の眠気や集中力の低下、居眠りなどが引き起こされ、交通事故の発生が健常者の７倍との報告があります。

ＳＡＳは、上気道が塞がるまたは、部分的に狭くなることで起こる「閉塞型睡眠時無呼吸症候群」の病態が最も多く、生活習慣病と併せて治療が必要となります。

■主な症状

・いびきをかく　・日中の強い眠気
・集中力・記憶力の低下　・何度もトイレに起きる
・寝汗をかく、寝相が悪い　・倦怠感・頭重　など

ＳＡＳの診断検査は主に睡眠中に行いますが、外来でできる検査もあります。さらに、専門の医療機関を受診し検査を受けることで、治療も確立されていますので受診をお勧めします。

■治療方法

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療は、さまざまな方法がありますが、肥満・メタボリックシンドローム、高血圧・高血糖、脂質異常などの生活習慣病を併発する人が多いため、生活習慣病の治療および生活改善と併せて行う必要があります。

・口腔内装置による治療
・外科手術による治療
・CPAP（シーパップ）療法（持続陽圧呼吸法）　など

県内の専門医療機関については、役場住民福祉課（☎49-3112）にお問い合わせください。

（文：村住民福祉課　村山保健師）

January 1

㊡＝休日当番医　［歴］＝歴史民俗資料館　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［ほ］＝ほっとはうす・さめがわ　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
1/1 元旦 ㊡東館診療所(矢祭町) ☎46-3165 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	2 ㊡大木医院(棚倉町) ☎33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	3 ㊡金澤医院(矢祭町) ☎46-2312 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	4 ●役場仕事始め ●消防団出初式… 10:30 ～［公］	5
8 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●幼稚園、各小・中学校 第３学期始業式	9 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面）	10 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	11 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまゆり保育室［こ］	12
15 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	16 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●日常生活訓練事業 （やまぶきの会）… 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 15:30 ～／鮫川小	17 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまゆり乳児室［こ］	18 ●心配ごと相談… 13:00 ～ 15:00[公]	19
22 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●10か月児健診・お母さんの口腔健康相談…9:30 ～［保］	23 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●おはなしの森… 15:30 ～／鮫川小	24 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	25 ●保育参観[こ]	26
29 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	30 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●おはなしの森… 15:30 ～／鮫川小	31 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●後期高齢者医療保険料 納期限	2/1 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	2
5 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	6 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館定休日 ●やまゆり保育室[こ] ●おはなしの森… 15:30 ～／鮫川小	7 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	8 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	9

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

11月届け出分・敬称略



関根（せきね）　凛太郎（りんたろう）・男
平24.11.2生
住所…反田
保護者…政市郎・郁美



藤田（ふじた）　來（らい）・男
平24.11.13生
住所…伏木田
保護者…愛



須藤（すとう）　叶悠（かなで）・男
平24.11.19生
住所…水口
保護者…勝久・真澄

おくやみ

11月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
酒垂	石井　文夫	11.1	52歳
大犬平	岡部　セン	11.2	92歳
発地岡	高野　勇	11.6	81歳
戸草	本郷　玉枝	11.11	83歳
下	菊地　末次	11.15	76歳
福原	芳賀ヤエ子	11.18	89歳
羽双	甲賀　武美	11.24	79歳
越虫	藤田セツ子	11.24	73歳
世々麦	星　俊一	11.27	80歳
関口	生田目常雄	11.28	85歳

人の動き

12/1現在・（　）は前月比

人口	3,988人	（−13）
女	1,989人	（− 5）
男	1,999人	（− 8）
世帯	1,158戸	（− 2）

寄付寄贈

11月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…石井一弥(酒垂)　岡部イネ子(大犬平)　高野富一(発地岡)　本郷喜美(戸草)　菊地辰雄(下)　芳賀道夫(福原)　甲賀美智子(千葉県)　藤田美光(越虫)　鈴木隆(塙町)　生田目利夫(関口)

■**鮫川ふるさとづくり寄附金(その他村長が認める事業)**…たすけあいネットさめがわ(清水国明代表)

■**村施設に[ぞうきん、足ふきマット]**…大塚キヨ(埼玉県)

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編／集／後／記

■新年あけましておめでとうございます。今年も「広報さめがわ」をよろしくお願いいたします。■私の今年の目標は「磨(みがく)」。魅力的な広報紙を作れるよう技術や能力を磨いていきたいと思います。（前田）

ⓘ暮らしのカレンダー

日	月
6 ㊡東白川中央医院(棚倉町) ☎33-3263 *第1日曜日は環境美化の日*	**7** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
13 ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町) ☎33-9468 ●第65回村成人式…10:00～[公]	**14** 成人の日 ㊡塙厚生病院(塙町) ☎43-1145 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
20 ㊡木村医院(矢祭町) ☎46-3528 ●文化財防火デー火災防御訓練…9:30～／西山地内	**21** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4か月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
27 ㊡あらまちクリニック(棚倉町) ☎33-8018 ●第14回鮫川村インディアカ大会…9:00～[ト]	**28** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
3 ㊡和田医院(棚倉町) ☎33-2012 *第1日曜日は環境美化の日*	**4** ●図書館休館日 ●トレセン休館日

Illuminations turn on

年末年始を明るく照らす
村内３カ所でイルミネーション点灯



真坂農村公園

設置場所　赤坂中野字真坂地内
点灯期間　2012年12月２日(日)～2013年１月末日
点灯時間　午後５時～午後９時
設置団体　真坂三矢会（矢吹浩美会長）



遠ヶ竜ふれあい公園

設置場所　赤坂東野字遠ヶ竜地内
点灯期間　2012年12月16日(日)～2013年１月16日(水)
点灯時間　午後５時～午前０時
設置団体　遠ヶ竜中山間集落協定（生田目広美会長）



村農村交流施設「山王の里」

設置場所　渡瀬字中野町地内
点灯期間　2012年12月３日(月)～2013年１月末日
点灯時間　午後５時～午前５時
設置団体　さめがわライフサポート（蛭田晃代表）

こちら **村長室**

▼新年明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお健やかに迎えられたこと心よりお喜び申し上げます。皆様の村政各般にわたるご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。▼本年も皆様と共に「きれいな村づくり」「人の集まる村づくり」を推進してまいります。今年もまた村民力を合わせ、「まめな暮らし」で頑張りましょう。▼震災後、特に原発事故後、農林業をはじめとした村の産業、経済に大きな影響を受けています。いち早く元の暮らしに戻すため、健康診断の実施、生活居住地や農地の除染を行っていきます。村民全員が目標を持ち、知恵を出し合えば必ず震災前のふるさとに戻ります。次世代の子どもたちのために、安心・安全なふるさとをつくりましょう。自信と勇気、負けない気持ちで今年一年頑張りましょう。▼村民の皆様にとりまして、幸多き一年になりますようご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

大樂勝弘

平成25年1月1日発行（毎月1日発行）
第705号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画観光課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新田39番地5